

コミュニティ台東

発行: 「コミュニティ台東」
編集委員会
事務局: 台東区区民課
協働・コミュニティ係
台東区東上野 4-5-6
☎ 03-5246-1126

コミュニティはふれあいとうるおいのあるまちづくり



コロナウイルスとの闘いの中で、コミュニティの大切さを改めて感じました。
今号では、各コミュニティ委員会の苦労や活動の様子をご紹介します!!

※記事内容については、令和5年夏秋にご執筆いただきました。

コミュニティ委員会とは?

コミュニティ委員会は、小学校の通学区域等を一つの単位として活動しており、

現在台東区内に **17委員会** あります。

活動は主に以下の通りです。

- ★コミュニティ祭りの開催
- ★防災活動
- ★活動拠点となる小学校付近の清掃
- ★地域のイベント運営の協力
- ★スポーツ・文化等サークル活動



NEXT 各委員会の活動は2面以降で紹介しています!

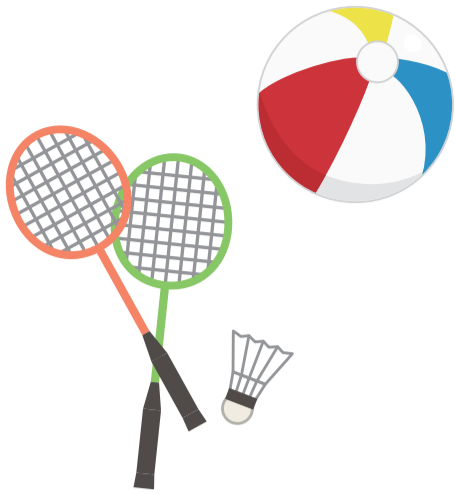
金曾木 小地区 コミュニティ委員会

金曾木小地区コミュニティ委員会は、令和5年度で創立37周年を迎えます。今年度めでたく創立120周年を迎えた金曾木小学校を拠点として、20のサークルの皆様と協力しながら様々な活動を続けてきました。

コロナ禍以前は、金曾木小学校PTAバザーと共同開催でのコミュニティ祭りやバスハイク、草津温泉へのスキーツアーなど、小さなお子様からご年配の方々まで地域の方々に多数参加して頂きながら、様々な行事やイベントで親睦を深めてきました。

令和2年度からは残念ながらこのような行事やイベントの開催は中止していますが、各サークルの活動は、コロナウイルスの感染状況に応じて感染対策を講じながら少しずつ再開し、現在ではコロナ禍以前に近い状況で活動をしています。

そのような中、コロナウイルスにも負けないで新たに発足し、元気に活動している2つのサークルがあります。代表者の方にインタビューをしましたので、ここに紹介させて頂きます。



バドミントンサークル connectBC

代表の遠藤典男さんにお聞きしました

- Q サークル発足の時期ときっかけは？
A 令和4年7月に発足しました。それぞれいろいろなバドミントンクラブに参加していたメンバーが、親しい人を集めて「バドミントンやろうよ」と誘ったのがきっかけです。
- Q サークルの名前の由来は？
A 「つなぐ」という意味です。様々な年代、スキル、経験。それらをバドミントンを通して繋いでいきたいという理想から付けました。
- Q どのような活動をしていますか？
A ゲーム練習が中心です。半年に一度景品を用意してチーム戦のイベント等も行っていきます。
- Q どのようなメンバーで活動しているのですか？
A 下は中学生から、大学生、50代の社会人まで、レベルも中学の部活レベルから台東区代表レベルまで様々な層のメンバーが集まって楽しんでいます。
- Q コロナ禍の間、苦労した事や嬉しかった事がありますか？
A コロナ禍に始めたサークルでありながら、発足当初からたくさんの方に参加してもらい、感激しました。
- Q サークルの自慢できる事や特徴は？
A やはり様々な年代とレベルの人達が、楽しく、互いに交流しながらバドミントンができるという所です。
- Q これからの目標を教えてください。
A 台東区バドミントン協会登録を目指して、練習を頑張っています。



年代を超えて仲良くバドミントンを楽しんでいます。

ビーチボールサークル sprout

代表の若山理恵さんにお聞きしました

- Q サークル発足の時期ときっかけを教えてください。
A 区内で行われている5年ビーチボール大会のための練習をしている子供達に、「大会が終わっても、もっとビーチボールをやりたい！」との声が上がったのを機に、サークルを作りました。令和3年11月から活動をしています。
- Q サークルの名前の由来は？
A sprout=新芽の意味です。新しく活動を始めるにあたり、子供達を「新芽」に例えました。
- Q どのようなメンバーで活動していますか？
A 小学6年生から中学生までの人達が元気に活動しています。
- Q コロナ禍の間、苦労した事や嬉しかった事がありますか？
A 活動が出来なかつた期間も、子供達から「もっと練習がしたい！」という意欲的な声が聞けた事です。
- Q サークルの自慢できる所、また目標は何ですか？
A 子供達みんなが楽しく、のびのびと活動している事です。これからは子供達も楽しくビーチボールを続けていってくれたら良いと思います。



みんなビーチボールが大好き！

令和6年度から8年度までの間、金曾木小学校校舎の大規模改修工事が予定されており、学校施設の使用が難しくなるため、近隣地区のコミュニティ委員会の皆様にはいろいろとご協力を頂く事があるかと思いますが、その節はどうぞよろしくお願い申し上げます。

松葉 小地区 コミュニティ委員会

コロナ禍での コミュニティ委員会の活動

松葉小地区コミュニティ委員会は、コロナ禍での各コミュニティ活動をすすめるなかで、区役所ガイドラインに沿って使用チェックリストの提出、使用者名簿の作成、使用した器具や設備のアルコール消毒等に最善の注意を心掛けてきました。

今までは当たり前のようにコミュニティ活動ができましたが、コロナ禍という今まで経験したことのない状況の中、各コミュニティが感染対策に気を配って活動してきました。

令和5年5月にコロナウイルスが5類になったことに伴い、4年ぶりの納涼盆踊り大会が7月に松葉小学校の校庭で開催できました。大人も子供も楽しめる模擬店やゲームを通じて地域の方々と楽しい一日を過ごせました。子供達の楽しそうな声が印象的でした。

11月にはコミュニティ大運動会があります。各コミュニティの子供から大人までたくさんの方が参加して、活気あふれるイベントです。

12月には一年間お世話になった松葉小学校の大掃除があります。大掃除後の振る舞われるお汁粉がとにかく美味しく、毎年楽しみにしている人は多いと思います。

ドナルドダック テニスクラブ紹介

ドナルドダックテニスクラブは、発足45年と大変歴史のあるクラブです。活動日は毎週月・木・日曜日、そして祝祭日に松葉小学校の校庭を借りて活動しています。30代〜60代のメンバーがレベルに関係なく和気あいあいとした雰囲気練習しています。

コロナ禍では、なかなか練習を開催することができず歯がゆい日々を送りましたが、コロナ禍が明け、消毒等の感染対策を施しつつ練習を再開することができました。

今年度はうれしいことにクラブメンバーが台東区シングルス優勝、団体戦準優勝という素晴らしい成績を残すことができました。

江本 雄介



団体戦準優勝



台東区40周年大会

根岸 小地区 コミュニティ委員会

根岸小地区コミュニティ委員会は令和6年度、創立37年を迎えます。当委員会は校舎の大規模改修工事期間とコロナ禍での利用制限が重なり、加入団体の皆様は他地区以上に利用機会を失う事となりました。利用制限の解除後も感染防止対策として、一週間の利用回数制限、同日に実施できる団体数の制限等をお願いしてきましたが、目立ったクラスターを発生させる事もなく、活動を進める事ができました。コロナウイルスが第5類に移行後はコロナ禍以前の活動に戻っております。

通常の各団体の活動に加え、三町会合同防災訓練やコミュニティ祭りなど根岸地区独自の活動も盛んに実施されております。創立40周年、50周年という節目に向けて、益々活発に活動して参ります。

根岸ラビッツ

根岸ラビッツは小学生バレーボールチームです。根岸小学校の体育館で週に1〜2回練習を行っています。現在部員は男子5名、女子2名の計7名です。根岸小学校だけでなく、他の小学校から参加している部員もいます。

バレーボールを楽しむだけでなく、練習や試合を通じて礼儀正しさを目標に向かって努力する楽しさ、仲間と協力することの大切さを学びます。

見学・体験は随時受付しています。ご興味のある方はぜひいらしてください。多くの子供たちとバレーボールを楽しみたいと思います。

ライナーズ

ライナーズは昭和52(1977)年に創立され、今年で47年目を迎える台東区少年軟式野球連盟に所属しているチームです。男女問わず年長から小学6年生までの子供たちを対象にしています。全日本学童軟式野球東京都大会やジャビットカップなど上部大会への出場経験も豊富です。

月曜日の夕方は根岸小の校庭で基礎的な練習を行い、土日祝日はリバーサイド少年野球場や荒川の河川敷などで試合や練習を行っています。見学・体験を随時受け付けており、初心者や女の子も大歓迎です。興味のある方は、月曜日の夕方に根岸小へお気軽にお越しください。一緒に楽しく成長しましょう！

ボーイスカウト台東第3団

「根岸小地区コミュニティ委員会に感謝！」

ボーイスカウト台東第3団は、昭和25(1950)年2月に中根岸・永称寺にて産声上げて以来70年以上にわたり地域で活動を続けています。現在では、幼稚園年長から大学生年代までのスカウトと成人指導者を合わせて約140名が活動しています。

特定の活動場所を持たない当団にとっては、コミュニティの会議室は、スカウトの集会や指導者の打合せ場所として、なくてはならない場所です。この会議室を利用し育ったスカウトたちが、現在では指導者として団を支えてくれています。ボーイスカウト台東第3団は、これからも青少年の健全育成を通じて地域社会に貢献してまいります。



根岸小地区コミュニティ委員会



根岸ラビッツ



ライナーズ



ボーイスカウト台東第3団

谷中 コミュニティ委員会

今年もコロナウイルスで始まり、コロナウイルスで終わるのでしようか？
その中で全てのコミュニティ委員会の方々は、子供達と楽しい時間を過ごせる様に計画を立て、努力している姿が素晴らしいと思っております。

谷中コミュニティ委員会も例年通りとはいかないまでも、楽しい「春のわくわくワークショップ」は大盛況で子供達の笑顔が素晴らしいです!!ポニーも2頭参加してくれ、いつも大人気です。今年も福祉部も「スマホ」講習会を開きました。

参加者の方々から「またお願い!!」と言われ、今後は定期的に開くことにします。

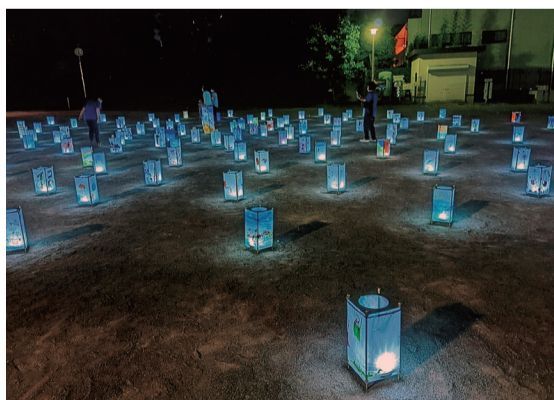


スマホも自在に扱えます?



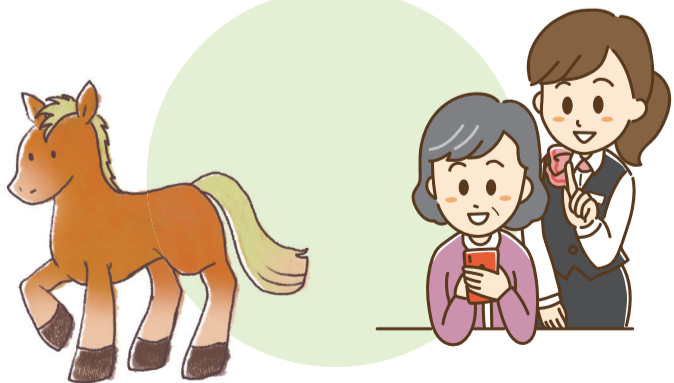
ポニーは可愛いし、乗ると楽しいヨ!!

10月には幻想的な灯籠祭りがあります。写真の通りコミュニティ広場が幻想的な空間になります。



幻想的な灯籠!!

最後に…春のわくわくワークショップでは、上野中学校の生徒さんがボランティアとしてお手伝いして下さいました。
お手伝いして下さいありがとうございます!!



田原 小地区

コミュニティ委員会

田原小地区コミュニティ委員会は、昭和61年7月、小学校の改築工事完成と同時に発足し、設立37周年を迎えることができました。現在スポーツはもちろん、ダンス・お囃子等バラエティに富んだ20の団体が、活動しております。

発足当時の『れつつ たわら』を合言葉に、地域に根付いた愛されるコミュニティ作り而努力してまいります。

会長 平野 光正

サークル紹介

当委員会は、バレーボール、卓球、バドミントン、空手、剣道、ビーチバレーボール、リズム体操、バスケットボール、ソフトテニス、硬式テニス、フットサル、少年野球、お囃子、社交ダンス、書道の各団体が所属し、学校のスペースをお借りして、子供から大人まで、集まり交流の場を作り活動を行っています。今回はその中の一団体を紹介します。

田原バレーボール(田原ボンバース)で、9人制のバレーボールチームです。

所属メンバーは、ほとんど学生時代からバレーボールをして、今も続けています。活動日は、毎週日曜日、午後の部を練習日として行っています。

活動内容は、練習前のストレッチ、声出しボールパス、大会に向けて練習をします。

大会は毎年5回、昨年までは、コロナウィルス流行のため、活動等がすべて中止となり、このまま活動の場を失ってしまったのではと不安の日々でした。

毎日体力と神経が低下しストレスがたまり、このコロナ禍でコミュニティの場はとても大事だと思いました。

今年6月より、コロナウィルスが終息したわけではありませんが、コミュニティ活動が再開し、低下した体力を少しずつ回復させ、大会に向けてメンバー一同頑張っています。

他の団体も同様に、練習復帰が出来た事、感謝しております。

その他の団体とは、毎年交流の場があり皆で親睦を深めています。

このコロナウィルスの一件で、コミュニティ委員会がとても大事な事を思い知らされました。

普通に行っていたコミュニティ委員会が突然活動日を失い、普通の日々が先の見えない日々を送ると思わなかった長い年月。

改めて、楽しく皆で過ごす日々の大切さを知る事が出来たと思います。

今は私達チームも大会に向けて、まずはフットワークと声出して体力を戻し、大会に勝つために、パス、レシーブ、トス、アタック、コーナーあて、ジャンプと連携をこなし、出来なかった時間を取り戻しチームで楽しくバレーボールを続けたいと思います。

興味を持った方、バレーボールを以前にやっていた方、初心者の方ぜひ田原ボンバースへ!!

コミュニティは、学校、町の地域、祭り等でいろいろな体験を得る事もあります。そのためにはコミュニティを知ってもらう事です。

その他各サークルもありますので委員会をよろしくお願いします。ファイイト!!田原ボンバース

岡野 眞弓



竹町 地区

コミュニティ委員会

こんにちは。コロナウィルスがまだ終息せぬこの時期、今回はコロナ禍の中で大いに活動している文化クラブのコーラスクラブをご紹介します。

女性コーラスの「フラウエンコール」です。当初は声を出す事が出来ず休止していましたが、コロナに負けてはダメと少しづつコロナ対策をしつつ活動を再開してきました。

現在はマスクをしながら練習、一年に一度の合唱祭にも出演する事ができ張り合いがもてました。声を出す事の大切さを知り、今年も10月に浅草公会堂での台東区合唱祭へ参加いたします。ぜひお越し下さい。

関田 美佐子

コロナ禍において、コーラスグループ「堀野音楽工房」は25名位で活動しています。竹町地区コミュニティ委員会へ参加し十数年になりましたが、楽しく有意義な時間を過ごし交流を深める事が出来感謝しています。コロナ禍のコーラスの練習は、入口にアルコール消毒と体温計を設置し、一人ひとり徹底した測定のもと活動をしてきました。空気の入替えも行いマスク着用にて練習をし、終了後の使用箇所のアルコール消毒も徹底して活動を続けてきました。そのかいもあってコロナ感染もなく無事乗り越える事が出来、現在台東区合唱祭の出演に向け「月3回の金曜日夕方6時30分〜8時30分」楽しい歌、外国の歌、なつかしい歌等を練習しています。一緒に歌いませんか、団員一同お待ちしております。

丸島 律子

以上コーラスグループ2つを紹介しましたが、平成揚雲書道会、ヴォイストレーニング主体の「藤の会」等コロナウィルスに負けずに活動をしていきます。

令和4年度は地区コミュニティ祭りとして11月に3年ぶりにバスツアーを実施しました。約60名の参加のもと、「益子焼絵付の体験や大前恵比寿神社へ参拝」等、好天に恵まれ参加者の個性に合わせた陶器への絵柄や文句を描いて、楽しい一日を過ごしました。次はまた何をしようかじっくり考えて企画していきます。

左治木 利明



フラウエンコーラス



堀野音楽工房



益子骨董村

金竜 小地区

コロナ禍の対応と現状

令和2年にコロナウイルスが感染し始め、コミュニティ活動は区民課から2月末に連絡が入りこれが活動停止の始まりでした。

それ以降、東京都感染者数の増減により活動の有無の繰り返しと、委員会の困惑が始まりました。

3月になると2年度の区主催の会議、行事等が中止となりました。委員会はまず、今年の計画の見直しから始め、各団体の安全を考慮し委員会の行事はすべて中止を決め、その後の状況を見守ることとなりましたが、委員会には各団体からの問い合わせも入り、情報収集にも心がけていました。

その間も、月一回は運営委員での交流はかさず行い、いつ再開しても対応できる体制を整えていました。

結果、2年度は6回の運営委員会を開くことができました。

3年度も東京都の感染者数は相変わらず増減を繰り返し、その影響で運営委員会の開催も左右されています。運営委員の意見交換会も委員長を中心に毎月行われ、総会の議案書の作成等の話し合いをしてきました。

4年度に入ると若干感染者数も減ってきて、運営委員会が行える状況になり、総会も3ヶ月遅れではありますが開くことができました。しかし、各行事は区と足並みをそろえて中止としました。

今年度に入るとコロナウイルスの対応が和らいできました。コミュニティ委員会でも総会も通常どおり実施し、コミュニティ祭りも規模を縮小した形ではありますが、実施することとしま

した。これからも、コミュニティ委員会として感染者の数推移を見極めながら運営していきます。



コミュニティについて

コミュニティについて私なりの感想を述べます。

コミュニティは昭和50年に当時の内山区長が「地域コミュニティ醸成計画」の一つとして、コミュニティエリアを小学校単位とする考え方を導入した経緯があります。それから約50年近く経っているのですが、コミュニティについて、どこか必ず一度は耳にしたことがあると思います。聞く可能性が高いのは子供達が小学校に通っている頃ではないかと思えます。しかし、そこで興味を「持つ」、「持たない」かによります。

こういった中でひとつの提案が、学校に「コミュニティ台東」を置いてもらいたい生徒に持ち帰ってもらうことです。町内で配布するよりも子供が持ち帰る方が、保護者が目を通す可能性が高いと思うからです。

また、ホームページの活用、充実が必要かと思えます。今は何を調べるにもインターネットが使われています。ほとんどの人がスマホを持つ時代で、見やすく、理解しやすい、見る人にやさしい方法で発信してみても、いかがでしょうか？

目につきやすくして、興味を持ってもらえれば区民課や学校に問い合わせ

が入り、各コミュニティに話を回すこともできます。こういう仕組みを作ることにより窓口を広くして地域の人々の参加を促すこととなります。この頃、コミュニティが縮小してきたように感じられているので、なんとかして盛り上げていきたいです。

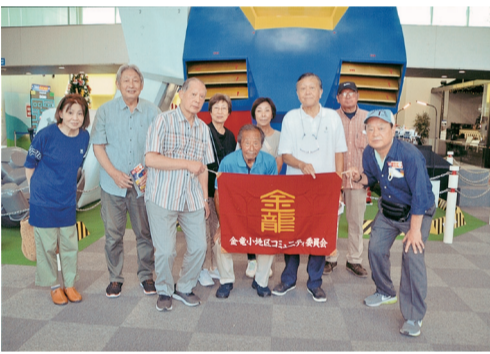
私達、金竜小地区コミュニティ委員会は昨年田口会長が就任して一年、田口会長の下、運営委員8名で運営を行なっています。

金竜小学校は区が行う「スポーツ開放校」、「少年リーダー研修」の指定校にもなっていますが、我々のコミュニティ活動はこれら諸活動の曜日を除いた範囲で行われています。

委員会の年間の活動は主に、総会、校庭での盆踊り、コミュニティ祭り、暮れの大掃除、コミュニティ交流大会に加え10月に行われるPTAバザーにも参加しています。バザーでは主に野菜等の販売をしています。それらの野菜は、約20年前から交流のある青森県百石町から分けて頂いています。このように、学校との結びつきも大切にしています。

私達、運営委員会は区側と学校・地域住民との橋渡しになるように活動していきますので、コミュニティ委員会をよろしくお願いします。

運営委員会一同



東上野 地域

コミュニティ委員会

私達「AERO KIDS」は子供から大人までのダンスサークルです。大人は幼稚園や小学校からずっと続けているメンバーです。毎週月曜日に楽しくダンスをしています。

ダンスやピクサー、ジャニーズなどの流行りの曲、聞いたことのある曲でダンスをしてリズム感を養っています。またその他にも学校体育で必要なマット運動を取り入れ、年齢に合った基礎筋力等を養えるようにしています。マット運動には困らないですよ。

コロナ禍が長く続き、思うように活動出来ない中で、いつか再スタートするであろうイベントに向けて練習を続けてきました。

令和5年7月、待ちに待った『下町七夕まつり』に参加し、たくさんの方の前でダンス発表出来ました。屋外で初めて発表するメンバーが多く暑さも厳しい中でしたが、たくさんの方前で発表した事を少し緊張しながらメンバーみんなで楽しみました。興味のある方、是非一緒にダンスしましょう。

AERO KIDS 室井 知美



令和6年2月の、台東区コミュニティ交流大会・浅草公会堂での参加・演技できることを楽しみにしています。

運営委員長 北島 啓行

年明け早々、東上野地域コミュニティ委員会「五月の夜の夢」(芸能研修発表会)出演の依頼がありました。

東上野三中町会「つくし会」は区シニアクラブ連合会(老人会)の下部組織で現在の会員登録者は40名です。

シニア連合会の運営指針は①仲間作りを通して友愛活動・生きがいと教養を高める活動

②地域の諸団体と共同して豊かな社会活動に取り組む。

③明るい長寿社会・健康福祉の向上に努める。

出演まで数回の練習日を設けました。つくし会には指揮者も歌の指導をする先生もおりません。

選曲したCDを数回聴いて耳で覚えて声に出して唱う練習です。

有志の皆さんとは大いに恥を掻いて「今日も生きがいを感じて活動した実感を楽しもう」と言う事に致しました。：「老いの一日は千金に値する！」

※コロナウイルス対応として時間短縮・出演数制限策を取られたようですが、今回も常連の「大正琴サークル・城東相撲甚句会・チーム金子フォークソング・粋流会太極拳・下町ケーナ同好会」はプログラムを飾るに相応しい素晴らしい出演グループです。

特別出演落語家の桂 才賀師匠の「わが青春の海上自衛官・社会福祉社」【岸壁の母ならぬ・面会の母】は、チヨツト袖を絞らせるウイットな立体落語で大受けいたしました。

※地域に根差す、当委員会の「ふれあい・つながり・ゆうあい」の基本活動の理念を尊重し、次回も老人会「つくし会」が参加出来れば幸いです。

三中つくし会 山下 辰男



富士小地区 コミュニティ委員会

長いコロナ禍による自粛もようやく終わり、この「コミュニティ台東」も令和3年2月より3年ぶりの発行です。富士小地区コミュニティ委員会も正常に戻りました。

そんな中、当委員会では新規部員募集中です。

サークルはバドミントン、バレーボール、ビーチバレー、空手、軟式テニス、少年野球、ジュニアバレーのスポーツクラブから俳画教室、漢字書道、かな書道の文化系があります。それぞれのサークルとも和気あいあい、充実して活動されています。

ご興味の方おられましたら大歓迎です。是非ともご一報ください。

活動としては、毎月22日に定例会を開いており、このうち6月は年度総会を開催しています。そして台東区コミュニティ交流大会とコミュニティまつりを行なっています。また、近隣地域のお祭りやイベントにも協力しております。

ご承知のとおりこれら活動も5月までコロナ禍により中止しておりましたが、3年ぶりに再開されました。そんな中昨年、早くも再開されたのは七ヶ町盆踊り大会でした。

今回は毎年8月の第一土日に開催されているその盆踊りについて述べさせていただきます。

令和5年8月5日6日の二日間、この地域の7町会合同での盆踊りが、学

校前の富士公園にて盛大に開催されました。

富士小学校近隣の象一、象潟、象三、馬二、馬三、田聖、浅伍の7町会です。昨年で48回を数えコロナ禍の3回の中止がありますから初回から51年たちます。

初回から青年部が主体で運営しており、会場設営にやぐらの組立は鳶頭、電気の配線に近所の電気店にお願いしている他は(お二人共にかつての青年部員でしたが)各町会の青年部員の貢献が高い盆踊り大会です。

太鼓の打ち手は富士小の生徒さんで、教えるのはかつてこの大会で打ち手として活躍した現在の青年部員です。

練習場所は当日の二週間前から富士小学校の体育館、会議室、和室を利用しており、その間のコミュニティの使用は中止としました。その太鼓をたたく小学生は1年生から6年生まで50人以上集まり、中には中学生も数人いました。これもコロナで3年出来なかった影響でしょうか？曲目は1年生の東京音頭にはじまり、2年生が大東京音頭、3年生炭坑節、4年生花笠太鼓、5年生は台東区ならではの桜橋音頭、6年生は白浜音頭、そして締めは中学生グループのズンドコ節です。

踊り手は各町女性部さん中心で、飛び入り参加もあり大変賑やかでした。また、公園のまわりの路地に各町青年部による屋台が出店されました。金魚すくい、ヨーヨー釣り、輪投げ、射的、おもちゃ等々全て原価販売で、これも大盛況でした。

本部席には各町会の町会長、青年部長が控えており、それこそ老若男女全ての人を楽しんだ二日間でありました。



最後に運営面ではなかなか厳しくなってきたようですが、私もかつての青年部員として、この盆踊り大会を見学させていただけると、改めて年代の流れ、繋がりの大切さを強く感じました。これからも、なんとか続けていかれます事を切に祈ります。そしてコミュニティとしてなんらかの協力が出来ればと思っています。

運営委員長 久代 喜志治

浅草小地区 コミュニティ委員会

浅草小地区コミュニティ委員会の総務・渉外委員として、早いもので29年がたち、今年度は運営委員長を務めさせていただきます。

3年前のコロナウイルス拡大により、29年間で初めてコミュニティ活動が休止し、イベントも中止となり、人々との繋がりが希薄になってゆく淋しさ、何もできないもどかしさを痛感いたしました。

制限下ではあるものの、昨年度より三社祭や三ヶ町納涼盆踊り大会が開催され、待ちに待ったお囃子や太鼓を発表することができて、地域の方々にも楽しんでいただけるようになりました。

コロナウイルスの影響で、残念ながら活動休止や縮小されて解散した団体もありましたが、今年度は17団体が活動しております。

各サークルの交流を図るイベントも、3年間で中止していましたが、秋にはビーチボール・テニス等のスポーツ大会と、冬には全サークル参加で盛り上がる懇親会を予定しております。

まだコロナウイルスの心配はありますが、当委員会設立より掲げている「心と心のふれあいとうるおいのあるまちづくり」をモットーに、明るく楽しいコミュニティ活動ができ、各団体が円滑に活動できるように、今年度は、山本会長始め5名の役員で運営してまいります。役員もぎりぎりの人数となりました。地域の皆様のご協力とご参加、そして一緒に活動して下さる方を心待ちにしておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

運営委員長 金子 和雄



山本会長



市原さん



山本会長



金子さん



下田さん

黒門 小地区

コミュニティ委員会

黒門小地区コミュニティ委員会は、平成3年3月に黒門小学校地区の住民が中心となり設立されました。

年1回のコミュニティ祭りと上野地区盆踊り大会のイベントがあり、地域の方々と楽しく交流しております。コミュニティ祭りは当委員会に参加している団体だけではなく、近隣の町会の方々にも来ていただき、100名以上参加の下ビーチボールやボウリングに汗を流します。今後も、地元に根付いたコミュニティ委員会を目指したいと思います。

当委員会は行事が豊富です。総会をはじめ、盆踊り大会、バザー、ボウリング大会など普段活動している団体の枠を超えて団体同士、また、地域の方々と交流を行っています。コミュニティに加入した最初の頃はコミュニティ活動に馴染めるか不安に思っていました。いざ参加してみると堅苦しい雰囲気はなく、皆が楽しんで活動しているのがとても印象的でした。今となっては一つひとつのイベントが楽しみです。

運営委員長 田嶋 章好

コロナ禍後初の上野地区盆踊り大会で感じたこと

はじめとした暑さが残る中、盆踊り大会のメイン会場になっている校庭へ到着すると、まず目に飛び込んでくるのは立派に組まれたやぐらです。真ん中から四方に伸びる提灯が盆踊り大会の雰囲気を一層盛り上げます。やぐらを囲むように踊り手のお姉様方、見よう見まねで参加する子供達、早くも酔っぱらったサラリーマンなど皆それぞれ楽しそうに盆踊りを踊っていたのがとても印象的でした。



盆踊り大会といえば屋台も外せません。上野地区盆踊り大会の屋台メニューはとても豊富です。ソースと紅生姜が食欲をそそる特製焼きそば、パリッとした皮と肉厚でジューシーなフランクフルト、ほどよいしょっぱみがあったホクホクのフライドポテト、みんな大好きポップコーン、物価高騰など関係なしの破格のかき氷、ビール（なんと1杯300円！）等々。お祭りなど人が多く集まるイベントのほとんどが中止になっていたコロナ禍では味えなかつたものばかりでした。また、体育館では射的、輪投げ、ボール投げなどのイ

ベントが行われており、多くの子供達が賑わっていました。



ほかに、荻野目洋子さんのダンシング・ヒーローで盆踊りを踊ったり、なかなかお会いできなかった方と偶然お会いしたり普段得られない刺激が多くありました。盆踊り大会の魅力やコミュニティの雰囲気を多くの方にお伝えしたかったのですが、私の稚拙な文章では到底お伝えしきることはできなかったと思います。ぜひ、来年は皆さんも盆踊り大会にお越しください。コロナ禍で忘れかけていた素晴らしい体験が待っているはずですよ。

石浜 小地区

コミュニティ委員会

コロナ禍の中、令和2・3・4年度は思うように活動出来ませんでした。途切れ途切れの活動の中、1F会議室で行っていた利用受付・集金を密を避けるため、1Fの会議室（校庭・会議室利用）2Fの会議室（体育館利用）に分けて、感染防止に注意を払って参りました。

令和4年10月16日に「はまっ子まつり」が3年ぶりに行われました。ゲームの数を増やし大抽選会を行い時間を短縮して利用団体にお手伝いをお願いしました。模擬店は行いませんでした。

例年、2月の第三日曜日の午前中に「避難所訓練」を町会の方々と共に行い、午後は利用団体希望者で「ビーチボール大会」を行っていましたが、3年間中止になっています。

5月からコロナウイルスが5類になりました。まだまだ安心して活動出来る状況ではありませんが、今年度はなるべく例年通りに活動する様にしました。10月には「はまっ子まつり」を行い、模擬店・児童館のハロウィンを復活します。令和6年2月には「ビーチボール大会」のみですが行う予定です。これからも地域町会・PTA・利用団体の方々と共にコミュニティ委員会として地域に根差す活動を行って行きたいと思っています。

運営委員長 小嶋 幸一



東泉 小地区 コミュニティ委員会

東泉フラッグフットボール

スタートして1年のまだまだ新しいクラブですが、すでに40名を超える子供達が在籍し、毎週元気いっぱい活動しています！

フラッグフットボールとは、スポーツ大国アメリカで人気NO.1スポーツであるアメリカンフットボールからタックルなどぶつかる動作をなくした年齢、性別に関係なく誰もが楽しめるスポーツです。

走る、止まる、ボールを投げる、ボールをキャッチする、また腰に付けたフラッグを取る、取られない様に逃げるなどといった様々な運動能力を鍛える事ができます。

ボールを持ってゴールをする以外にもいろいろな役割があるため、運動が苦手な子でもきつと活動できる役割があります。

またプレーの前に、みんなで作戦を考えるのもこのスポーツの特徴で、自分たちで作戦を考えることで考える力、伝える力、聴く力、コミュニケーション力が身に付きます。

腰に付けたフラッグを取るしつぽ取りの鬼ごっこ感覚で楽しめるスポーツで、初めての子どもも楽しめます。

☆代表コーチ 吉田コーチより

通常の練習では、フラッグフットボールを通じて子供達にスポーツで大切な礼儀やマナーそして最後までやり切る

事の大切さを伝えていきます。またスポーツで勝負する事が多いので、もちろん勝つという事を目指す事は大切ですが、勝った負けたの結果だけではなく、どう取り組んだかの過程を大切にしています。

百聞は一見にしかず！体験参加は随時受け付けておりますので、ぜひ一度体験参加してみてください。



子供達、また保護者の方からコメントもご紹介させて下さい。

☆フラッグフットボールの楽しいポイント

- ・チームワークで協力して走る事が楽しい。
- ・チームワークで作戦を考えてプレーすること、チームの仲間と作戦を考えることが大切で一人だけではできないところが楽しい。
- ・フラッグを取る、ボールのパスとキャッチ、走る、作戦を考えるなど色々な事を一度にできるのが楽しいです。

☆フラッグフットボールを通して成長したと思うところ

- ・運動が苦手だったけれど、友達と楽しく練習をしている姿を見て成長していると思いました。
- ・向上心が育ってきたこと、自分の意見だけでなく相手の意見も聴ける様になった。
- ・友達の意見を聞いたり、自分の意見も積極的に言うようになった。
- ・年齢の垣根を超えてチームで協力できていることが素晴らしい。
- ・仲間と共に考えて行動する、大事な時に声をかけるなど仲間との関係が構築されてきている。
- ・勝つ喜びもありますが、それ以上に仲間とのチームワークやまずは楽しさが一番の様です。

☆区内はもとより区外、都外のフラッグクラブとの交流戦なども行なっておりお友達の輪が広がっていく事も子供達には楽しみの一つです！

サンチャイルドFC

1年生〜6年生まで、およそ50人ほどの子供たちが在籍しています。

明るく、楽しく、元気よくをモットーに、サッカーの楽しさを知ってもらいたいと地域の大人、パパ、OBなどがボランティアでコーチをしています。

活動場所は土日の東泉小学校の校庭を中心に台東グラウンド、リバーサイド競技場など。

随時メンバー募集中ですので、お気軽に体験申込み、お問い合わせください。一緒に楽しくサッカーをしましょう！お待ちしております！



サッカースポーツ少年団

SUN CHILD FC

サンチャイルドFC

新メンバー大募集
練習見学・体験 随時受付中

フラッグフットボールは
2028年ロサンゼルスオリンピックでの実施が正式に決定いたしました。

大正 小地区

コミュニティ委員会

朝顔笑顔の大正小地区コミュニティ委員会です。今年30周年を迎えます。

約3年にも渡るコロナウイルスによる行動制限の後、ようやくイベントを再開することができました。春恒例の「大正小地区コミュニティ文学歴史散歩」を3年ぶりに行いました。

4月2日、今回は深川江戸資料館で当時の生活に思いをさせ、清澄庭園で花を愛で、最後に深川不動尊を巡るぶらり散歩です。入谷駅から日比谷線に乗り、仲御徒町駅で都営大江戸線に乗り換えて、清澄白河で降ります。深川不動尊で解散した後、各々昼食をとり、門前仲町駅から帰るコースです。参加者はコロナ前より少なく、14名でした。今年は桜の開花が早く、当日は散り気味でしたが、久しぶりの散歩を楽しみました。マスクの着用については個人の判断に委ねられておりましたが、参加者の皆様は写真撮影以外では着用していませんでした。コロナウイルスは2類から5類に移行し、秋に行うコミュニティ祭りや新年会は、コロナ前の「通常開催」に戻そうと思っております。ただやはり高齢の方や基礎疾患をお持ちの方にとっては、重症化リスクの高い病気であることには変わりません。場合によっては節度を持った行動をとり、安心安全な生活が取り戻せるように願います。

運営委員長 丸地 伝三



浅草橋 地区

コミュニティ委員会

コロナ禍での「コミュニティ活動」

3年以上にわたり苦しんだコロナウイルスの状況もようやく一段落し、様々な活動が復活してきています。

浅草橋地区コミュニティ委員会では、令和5年5月のマロニエ祭りに引き続き、久々の開催となる8月の柳北踊りに運営お手伝いとして協力しました。

柳北踊りでは、浅草橋コミュニティ委員会所属の各サークルの方々に交代でお手伝いをして頂きました。事前の運営会議で各サークルに抽選をしてもらい、手伝いの時間を決定するという方法です。暑いさなかでの運営手伝いとなり、中々大変でしたが皆様積極的に活動頂きました。

コロナ禍の影響を大きく受けたサークルの一つが合唱団です。浅草橋コミュニティには、浅草見附男声合唱団があります。合唱は感染リスクが高いというデメリットを貼られ、集まるとの練習が出来ない頃はオンラインを利用して四苦八苦しながら練習に励みました。そして現在では、相変わらずマスクは着用しておりますが、団員が集まって対面での練習が可能となり、ハーモニーを奏する喜びをかみしめながらのびのびと練習に励んでいます。

浅草見附男声合唱団は、来年3月にジョイントではありますがコンサートを企画しており、苦しんだコロナ禍を吹き飛ばす素晴らしいコンサートにすべく、奮闘努力している毎日です！
コロナに負けず、活動をエンジョイしよう！



蔵前 小地区

コミュニティ委員会

蔵前小地区コミュニティ委員会は、蔵前小学校、ことぶきこども園で活動しています。参加サークルは、現在、28団体で、さらに増加傾向にあります。

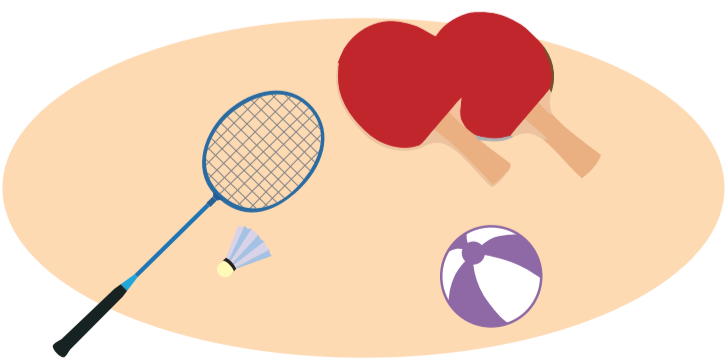
コロナ禍では、基本的に各サークルの活動は停止しておりました。

コミュニティ祭りについては、これまでやってきたコミュニティ祭りができないため、蔵前小の子供達の参加を中心にウォークラリーを令和2年度と令和3年度に行いました。

令和4年度にコロナ自粛緩和もあり、サークル活動もコロナ対策をしつつ、再開いたしました。コミュニティ祭りもコロナ前に行っていた飲食は自粛したものの、「蔵の街フェスティバル」と称し、蔵前小PTAと共催で、2年間実施してきたウォークラリー、大抽選会、野菜販売、寄贈品販売などを行い、賑わいました。(雨でウォークラリーは中止)

本年度は、蔵前小学校が20周年で、秋にコミュニティ祭りを行うことが困難なため、令和6年2月25日にコミュニティ祭りをを行います。内容は、昨年の内容に加え、飲食を復活できないか？と現在、相談しているところです。

最後に、蔵前小地区のサークルを紹介いたします。文化系では、お囃子、居合道などの団体があります。その他はスポーツ系団体です。ビーチボールバレー、バレー、バトミントン、卓球、テニス、少年サッカー、少年野球等の団体に加え、新スポーツの団体も加わってくれました。コイフボール、You・Foという新スポーツで、2月に行われる交流大会で、デモンストラクション披露する予定です。コロナ禍を経て、よりパワーアップして、各サークル活動、コミュニティ祭りを行って参ります。



上野
小地区
コミュニティ委員会

上野小地区コミュニティ委員会の発足は、旧下谷小と旧清島小の合併により地域に開かれたインテリジェントスクール上野小の誕生がきっかけとなりました。

希望サークルを募り、「地域のコミュニケーションを大切にしよう!」を合言葉に活動を続けて創立30周年記念式典を昨年開催しました。

「都会に住む子供達のふるさとの思い出の一つになれる様に。」小学校の近隣の町会の盆踊り大会を上野小地区の皆様のご協力のもと、校庭で開催する運びになりました。

わが委員会も全サークルの皆様を動員して、警備を中心に毎年盆踊り大会に参加しております。また、単独活動の「コミュニティ祭り」を毎年開催しており、今年も盛況のうちで開催されました。

現在サークルは18団体が活動しております。

上野小学校の施設を使用させて頂き感謝しております。これからも地域の子供さん達を見守りつつ、楽しいサークル活動が続けられますように、皆様のご協力をお願いいたします。

副運営委員長 亀田 洋子



上野ビーチボール
クラブ

金曜19時〜21時上野小体育館でビーチボールバレーの練習をしています。ビーチボールを使ったバレーなので、突き指などの心配もなく老若男女楽しめる生えスポーツです。楽しすぎて30年続けている人50歳から始めた人もいます。経験の有無を問わず興味がある方は是非体験にいらっしやいませんか。



護身武道小林会

私たち護身武道小林会は、毎週月曜日19時から日常に潜む暴力や様々なハラスメントに負けないため、突き・蹴り、抜き技や投げ技、身近な物を使った技などを実践的に使えるように練習しています。全員が「人に優しく」を柱に。明るく楽しく元気に活動しています。少しでも興味関心を抱いた方はお気軽に見学・体験にいらしてください!!



東京レディーズ
アンサンブル

私達は今年の3月に念願だった演奏会を開催致しました。大勢で大きな声をだす事が禁忌とされるコロナ禍で団員各々が苦労や心配を抱えながらの練習の日々でした。そんな折にも多くの方がご来場下さり、改めて歌う喜びを実感する演奏会になりました。私達はこれからも歌い続けたいです!一緒に歌う仲間も募集しています。ぜひ一度上野小音楽室へいらっしやいませ。



サンジュニア

少年野球チーム「サンジュニア」は昭和48年に設立した歴史あるチームです。現在も当時選手だった子供や親が監督や様々な立場で支えています。コミュニティでの活動は、学校教育、家庭教育だけではなく、地域教育として、子供たちが安心して活動できる場所であり、地域とのつながりの場です。納涼祭では太鼓の打ち手としても参加しています。



〈活動日〉
○小学部：火・金・土・日・祝
○中学部：水・土・日・祝

スカラベテニス同好会

仕事や地域のボランティア活動など、様々な場面で知り合ったテニスを楽しみたいメンバーで構成。毎週月曜日19時から活動しています。平日、しかも月曜日と言うことで、参加メンバーはかなり限定されてしまっています。技量はそれぞれですが、毎回試合に闘志を燃やしています。緩くテニスを続けていきたい方の参加を期待しています。



コミュニティ委員会に入りませんか?

各地区のコミュニティ委員会では、特色ある様々な活動を行っております。地域貢献をしたい!地域の人とつながりをつくりたい!コミュニティ委員会には、そんな気持ちを持っている方がたくさんいます!ぜひ、あなたも活動に参加してみませんか?

ビーチボールバレー大会の様子



和気あいあいとした会場です!

文化交流大会の様子



歌に踊りに、武道演舞など!盛りだくさん!

コミュニティ委員会やサークルに参加してみたい方は区民課コミュニティ委員会担当まで!! ☎03(5246)1126